

入学おめでとう!



4月9日、池間小中学校入学式がおこなわれました。池間小新1年生に、尾崎開盛くんが入学しました。1年生1人ですが、在校生や島の方々が温かく見守るなか「勉強をがんばりたいです」として



発行者
NPO 法人いけま福祉支援センター
電話：75-2870

勝久さん、奥平類さんの4名が入学。新しい制服に身をつつみ、中学生の仲間入り



仲間入りをしました。新1年生の入学で、池間小中学校の生徒数は、小学生16名、中学生10名、計26名になりました。



「池間すでいがふう奨学金」創設

このたび、NPO いけまでは、島の若者の背中を後押しする「池間すでいがふう奨学金」を創設しました。3月30日には初となる奨学金の贈呈式が行われました。

この奨学金は、池間島で育つ子どもたちが「なりたい自分」に近づくことを、島民一人一人が支える仕組みとして創設しました。感謝の意を表す「すでいがふう」から、「池間すでいがふう奨学金」という名称になりました。今年、卒業生5名中5名全員が進学。このうち3名より応募があり、厳正な選考の結果、初の奨学金を與那原愛理さんに贈ることに決定しました。



初の贈呈式には、生き生き教室のオカアたちや愛理さんを小さい頃から育ててこられた祖母のサヨさん、きゅ〜ぬふから舎の利用者さんや子どもたちなど、多くの人が参加しました。たくさんの方の激励に、愛理さんは「夢を持って頑張っていたんだって思えました。夢をかなえて帰ってきます。」と感謝を伝えていました。この奨学金は、NPO いけまが2014年より発行してきたカレンダーの売り上げをもとにしています。近年、特に沖縄では子ど

もの貧困が深刻との報道があります。巢立っていかうとするこどもたちが、経済的な理由で自分の将来をあきらめてしまうことほど悲しいことはありません。そして、島の人たちは、いつも心配して、支えていきたいと考えていることをこどもたちに知っていてほしいと思います。小さなスタートですが、少なくともこの先10年は続けていけるようにと考えています。(三輪)



池間島の海開き

3月31日、池間島で初となる海開きがフ

ナクス海岸にて行われました。この催しは、池間自治会主催、池間島観光協会共催で行われ、フナクスにてビーチクリーンを行ったあと、バーベキューを行うというプログラムで企画されました。当日は少し風があったものの、絶好の海開き日よ

りで、島内外から約30名が集まり、海水浴やバーベキューを楽しみました。ビーチクリーンでは、冬の間北風で打ち上げられた大量のペットボトルなどの漂着ごみを集め、ごみ袋82個分にもなったそうです。企画した仲間広二さんは「初めての催しでしたが、子どもたちもたくさん集まってくれてとても良かったので、ぜひ恒例の行事にしていきたいです」と話しています。

新入生歓迎演芸会

3月31日、4月1日の2日間、毎年恒例となっている「高校生新入生歓迎演芸会」が離島振興総合センターにて開催されました。今年高校に入学する新1年生4名を迎えて、総勢11名で企画・出演を行いました。伝統的な出し物として「北の大地」「麦畑」「高校1年生」なども継承しながら、「ダンシングヒーロー」や「T.T」など新

しい演目も多数あり、子どもたちからおばあちゃんまでみんなが楽しめるよう工夫が凝らされていました。



13:30～池間中学校の生徒たちがイラビジへ潮干狩りに出発します。地域の皆さまも一緒にご参加ください。

今月の予定

- 4月18日(水) サニツ
- 4月22日(日) トライアスロン宮古島大会
- 4月22日～25日 横浜サイエンスフロンティア中学校民泊
- 4月29日(日) 老人クラブ総会



シマ学校

いけまふつを学ぼう

4月12日、池間小学校の総合的な学習の時間を活用して、シマ学校が開講しました。小学校3年生～6年生までの児童14名と、生き生き



教室の利用者のみなさん18名が参加して、池間方言カルタをつかって遊びながら、島のことを学びました。

